

総務省講演会 (政策ワークショップ)

主催：行政研究会 共催：学生支援室

3月1日(火) 政策WS@大阪大学

場所：大阪大学豊中キャンパス 豊中総合学館4階401教室

時間：①13:30~15:30 ②16:00~18:00

総務省が抱える政策課題の最前線を講師が説明し、参加者の皆さんでディスカッション・発表する企画です。事前知識不要！

行政管理・評価分野

「政府の体制・規模を考える～組織・定員査定の疑似体験～」

政策を動かすためのリソースとなる「人」と「組織」。行政に投入できるリソースが限られる中では、最小のコストで最大の成果をあげる「効率的な政府の体制」が求められています。これからの日本の優先課題は何か、そのためにはどのような行政の形をつくっていくか。一緒に考えてみませんか？

組織・定員の査定にあたって、各府省から何をヒアリングし、それをどのように判断すべきか。実際の査定プロセスを疑似体験し、政府の在り方を決める難しさ、それ故の醍醐味を感じてください！
組織・査定のほか、公共サービス改革や公務員制度改革など、“行政改革”関連の業務を多く担当した講師をお呼びしています。ぜひお気軽にご参加ください。

内閣官房内閣人事局 参事官補佐 併任 総務省行政管理局 副管理官
宮崎 孝一(平成12年入省)

1コマ
13:30~15:30

情報通信分野

「インターネットの覇権を巡る世界各国の攻防」

インターネットは、生活・産業基盤として、今や誰にとっても不可欠なものとなっています。出現から既に30年ほどが経った今では、先進国だけでなく発展途上国を含む世界の人々すべてにとって欠くことのできない人類の共有財産となっています。

このような中、「インターネットは誰のものか」という根源的な問が、現在国際社会で投げかけられています。民間主導の現在の管理体制がよいのか、国家主導で管理するのがよいのか、様々な場で議論されています。経済だけでなく、安全保障、民主化運動、人権・文化など様々な利害が複雑に絡む課題について、日本としてどのように交渉すべきでしょうか？

今回は、WTO・OECD・国連などの国際的な舞台上で、実際に「日本政府代表」として交渉に携わってきたプロを講師としてお招きしました。

国際交渉の現場の空気を体験し、自分ならどのような戦略を立案するか斬新な発想を政策当事者にぶつける貴重な機会を体験してみましよう！

総務省大臣官房企画課 課長補佐 嶋田 信哉(平成12年入省)

2コマ
16:00~18:00

WSの参加はメールで予約！

【宛先】 setsumeikai@soumu.go.jp

【件名】 3月1日政策WS参加希望

【本文】

- 1 氏名(ふりがな)
- 2 大学、学部、学年(既卒可)
- 3 参加希望コマ(例：1コマ,2コマ)
- 4 当日の連絡先

総務省は、国家マネジメント、地方自治、情報通信と
いった幅広い分野を担っています。

多様なキャリアパス、やりがいある仕事。

ぜひ、総務省の職員に会いに来てください！

各種説明会情報はHPをチェック！

総務省 説明会

検索